

(様式第9)

神大医総第 71 号  
平成21年

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人神戸大  
学 長 福 田 秀

神戸大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告する。  
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	114人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	434人	416人	650.3人	看護業務補助	3人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	16人	32人	31.2人	理学療法士	11人	臨床検査技師	49人
薬 剤 師	45人	2人	46.5人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	11人	その他	0人
助 産 師	25人	0人	25.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	794人	12人	801.1人	臨床工学技士	22人	医療社会事業従事者	6人
准 看 護 師	1人	1人	1.6人	栄 養 士	1人	その他の技術員	31人
歯 科 衛 生 士	2人	0人	2.0人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	177人
管理栄養士	6人	0人	6.0人	診療放射線技師	38人	そ の 他 の 職 員	21人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	805.6人	14.5人	820.1人
1日当たり平均外来患者数	1697.6人	78.9人	1776.5人
1日当たり平均調剤数	1549剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	46人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第八因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	10人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	1人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	10人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘢痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘢痕その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	7人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
31P—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	5人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="radio"/> 無	5人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人

無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。)及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。)が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
--	---------------------------------------	----

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るもの	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	44人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	90人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	15人
・多発性硬化症	45人	・ウェゲナー肉芽腫症	13人
・重症筋無力症	67人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	114人
・全身性エリテマトーデス	317人	・多系統萎縮症	37人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	21人	・膿疱性乾癬	0人
・サルコイドーシス	47人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・筋萎縮性側索硬化症	25人	・原発性胆汁性肝硬変	38人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	225人	・重症急性膵炎	10人
・特発性血小板減少性紫斑病	37人	・特発性大腿骨頭壊死症	46人
・結節性動脈周囲炎	29人	・混合性結合組織病	48人
・潰瘍性大腸炎	53人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	29人	・特発性間質性肺炎	4人
・ビュルガー病	25人	・網膜色素変性症	44人
・天疱瘡	31人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	54人	・原発性肺高血圧症	9人
・クローン病	25人	・神経線維腫症	18人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	20人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	100人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	15人
・アミロイドーシス	5人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	6人
・後縦靭帯骨化症	27人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	1人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	消化器、呼吸器、血液などで週四回の頻度で症例検討会を開催、剖検症例CPCは院内例全例を実施、週一回程度。		
剖検の状況	剖検症例数	68 例	剖検率 21.5 %



(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
糖尿病症患関連遺伝子の同定と医療への応用	春日 雅人	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	38,000,000	(補委) 文部科学省
ヒトヘルペスウイルス6エンベロープ糖タンパク質の機能解析による感染機構解明	森 康子	医学研究科附属感染症センター	4,000,000	(補委) 文部科学省
新規Znフィンガーファミリーがん抑制遺伝子を介する多段階発がんモデルの確立	松井 利充	血液内科学、血液内科、神経内科学、神経内科	5,800,000	(補委) 文部科学省
ヒト胃内感染ヘリコバクター属、ピロリとハイルマニのゲノム解析と病原性遺伝子の解明	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	4,000,000	(補委) 文部科学省
治療遺伝子を用いた腰痛に対する低侵襲治療システムの開発	土井田 稔	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	4,100,000	(補委) 日本学術振興会
腫瘍発生・進展における非定型的メチル化シトシンの病態学的意義についての網羅的解析	前田 盛	病理学(旧分子病理学・北澤研究室)	2,100,000	(補委) 日本学術振興会
eNOSトランスジェニックマウスを用いた男性不妊に対する新たな治療法の開発	藤澤 正人	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
子宮筋腫発育の性ステロイド制御機構解析に基づく新しい治療法開発に向けた戦略的研究	小原 範之	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
嗅神経細胞再生の分子機構解明と嗅覚再生医療に関する研究	丹生 健一	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	4,800,000	(補委) 日本学術振興会
腰部脊柱管狭窄症に対する最小侵襲手術システムの開発	西田 康太郎	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	5,000,000	(補委) 日本学術振興会
非CpGアイランド領域シトシンメチル化の包括的病態解析	北澤 莊平	病理学(旧分子病理学・北澤研究室)	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
転写因子を標的とする蛍光相関分光法を用いた新規病態検査法の開発	熊谷 俊一	免疫・感染内科学、免疫内科、検査部、輸血部	4,100,000	(補委) 日本学術振興会
肝臓における糖脂質代謝関連遺伝子の発現制御機構の解析	小川 渉	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	6,500,000	(補委) 日本学術振興会
デュシェンヌ型筋ジストロフィーのエクソスキッピング誘導治療に関する研究	松尾 雅文	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部、こども発育学部門	5,400,000	(補委) 日本学術振興会
皮膚癌発症における長波長紫外線の関与	錦織 千佳子	皮膚科学、皮膚科	3,600,000	(補委) 日本学術振興会
各種視神経変性モデルにおける網膜神経節細胞死と細胞外基質の関連の解明	根木 昭	眼科学、眼科	2,200,000	(補委) 日本学術振興会
ラット遊離筋弁移植モデルを用いた運動・知覚神経交差再生による筋萎縮予防効果の解明	田原 真也	形成外科学、形成外科、美容外科	5,300,000	(補委) 日本学術振興会
自己由来細胞組み込み型新規人工再生粘膜の開発～完全なる口腔粘膜再生をめざして～	古森 孝英	口腔外科学、歯科口腔外科	3,700,000	(補委) 日本学術振興会
アジアのヘリコバクターピロリ感染と消化器疾病構造の疫学調査研究	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	4,100,000	(補委) 日本学術振興会
ヒトヘルペスウイルスの病原性発現に関与する因子の同定と機能解析	森 康子	医学研究科附属感染症センター	8,000,000	(補委) 日本学術振興会
CNV解析による先天性腎尿管奇形の新規原因遺伝子同定と遺伝子診断システムの確立	飯島 一誠	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部、こども発育学部門	6,100,000	(補委) 日本学術振興会
成人GH分泌不全症をモデルとした非アルコール性脂肪性肝炎の病態解明と治療法の開発	千原 和夫	(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、内分泌グループ、カルシウム骨代謝グループ	6,100,000	(補委) 日本学術振興会
陽子線・炭素線の生物学的効果に関する基礎的比較・検討	菱川 良夫	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科	6,100,000	(補委) 日本学術振興会
脱細胞化神経をバイオスキャフォールドとする新しいハイブリッド型人工神経の開発	寺師 浩人	形成外科学、形成外科、美容外科	7,400,000	(補委) 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨髄微小環境での破骨細胞分化因子受容体(RANK)発現調節と破骨細胞分化の解析	北澤 理子	病理学(旧分子病理学・北澤研究室)	800,000	(補委) 日本学術振興会
移植時低酸素状態にある門脈内臍島に対する新しい酸素供給法による生着改善効果の検討	酒井 哲也	食道胃腸外科学、食道胃腸外科	800,000	(補委) 日本学術振興会
口腔粘膜ケラチノサイトの細胞代謝と分化が創部上皮化に与える影響	尾島 泰公	口腔外科学、歯科口腔外科	800,000	(補委) 日本学術振興会
DNA修復蛋白XPAの新しい機能と神経症状発症機構の究明	竹内 聖二	細胞生物学	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
mTORを介した栄養環境感知システムの機能異常と病態	原 賢太	老年内科学、老年内科	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
染色体脆弱部位関連がん抑制遺伝子の機能解析と発癌メカニズムの解明	仙波 秀峰	病理学	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
放射光(スプリングエイト)を利用した新規循環器疾患診断法の開発とその臨床応用	山下 智也	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附)	1,700,000	(補委) 日本学術振興会
腫瘍血管新生を標的とした新規の抗腫瘍療法の確立	石田 達郎	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附)	1,700,000	(補委) 日本学術振興会
血管内皮リパーゼを標的としたメタボリックシンドロームの病態解明と新規治療法の開発	平田 健一	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附)	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
メタボリックシンドローム発症・進展における生体リズムの役割解明	野中 英美	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附)	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
慢性腎臓病にともなうミネラル骨代謝異常における新規活性および阻害分子の作用機序	深川 雅史	腎・血液浄化センター、腎臓内科学、腎臓内科	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
臓器形成期における飢餓ストレスの膵β細胞への影響	木戸 良明	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
糖脂質代謝を調節する2つの新規ケモカインの同定と生理機能の解析	高橋 裕	(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、内分泌グループ、カルシウム骨代謝グループ	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
骨髄造血幹細胞の末梢血への動員メカニズムにおけるPGE2の役割に関する検討	片山 義雄	血液内科学、血液内科、神経内科学、神経内科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
6番染色体長腕に位置する新たなリンパ腫関連遺伝子TFLの機能解析	山本 克也	血液内科学、血液内科、神経内科学、神経内科	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
マイクロRNAプロファイリングによるヒトループ腎炎及びマウスモデルの研究	河野 誠司	免疫・感染内科学、免疫内科、検査部、輸血部	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
活性化プロテインCを用いたアポトーシス制御による新生児脳障害の治療に関する研究	横山 直樹	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部、こども発達学部門	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
悪性黒色腫細胞の恒常的IL-8産生におけるSTAT3の役割及びその活性制御機構	岡 昌宏	皮膚科学、皮膚科	1,700,000	(補委) 日本学術振興会
悪性黒色腫における代謝型グルタミン酸受容体発現の意義解明	船坂 陽子	皮膚科学、皮膚科	1,700,000	(補委) 日本学術振興会
SHPS-1/SIRPα関連蛋白による制御性T細胞の誘導と皮膚炎症の制御	堀川 達弥	皮膚科学、皮膚科	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
自殺における細胞内情報伝達の変化に関する分子遺伝学的研究	西口 直希	精神医学、精神科神経科	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
レドックスを利用した消化管に対する機能性放射線防護食品の開発	岡本 欣晃	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科	1,700,000	(補委) 日本学術振興会
胆道癌に対する抗癌剤gemcitabine奏効例の選別化	味木 徹夫	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
隣頭十二指腸切除術術期におけるG-CSF投与による手術成績及び医療経済の比較	外山 博近	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
分割臍島・臍臓同時移植の確立	松本 逸平	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	700,000	(補委) 日本学術振興会
拡散テンソル画像によるびまん性軸索損傷の定量評価:予後判定の有効性の検証	細田 弘吉	脳神経外科学、脳神経外科	700,000	(補委) 日本学術振興会
吸入麻酔薬による新生児期の全身麻酔の安全性の再評価	植木 正明	麻酔科学、麻酔科、集中治療部	900,000	(補委) 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
精囊浸潤前立腺癌の進展メカニズムの解明およびそれを標的とした新規治療の開発	三宅 秀明	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,600,000	⑤補委 日本学術振興会
微小循環改善薬点眼による未熟児網膜症進行抑制治療の開発	塚原 康友	眼科学、眼科	1,700,000	⑤補委 日本学術振興会
顔面神経麻痺への顔面神経—舌下神経クロスリンク型神経移植術における神経科学的研究	橋川 和信	形成外科学、形成外科、美容外科	700,000	⑤補委 日本学術振興会
早期スポーツ復帰を目指したACL移植腱の再生促進についての研究	久保 晴司	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	1,500,000	⑤補委 日本学術振興会
胃粘膜幹細胞におけるCdx2の機能解析	横崎 宏	病理学	2,200,000	⑤補委 日本学術振興会
関節リウマチ患者における概日リズムの変化と睡眠障害の解析	柱本 照	リウマチ学	983,429	⑤補委 日本学術振興会
マイクロRNAによる関節リウマチの新規診断・治療法の開発	中町 祐司	免疫・感染内科学、免疫内科、検査部、輸血部	1,400,000	⑤補委 日本学術振興会
筋ジストロフィーのアンチセンス治療におけるシグナル伝達因子の動態に関する研究	竹島 泰弘	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部、こども発育学部門	1,600,000	⑤補委 日本学術振興会
3.0T MR装置による新たな肺癌核磁気共鳴(MR)診断法の開発	大野 良治	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科	1,800,000	⑤補委 日本学術振興会
3テスラ磁気共鳴装置による関節軟骨移植療法の新規診断法の開発	藤井 正彦	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科	1,800,000	⑤補委 日本学術振興会
血管新生誘導による移植膵島の生着改善効果の検討	辻村 敏明	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	1,400,000	⑤補委 日本学術振興会
肝癌切除後再発高危険群に対する高用量肝局所化学療法の再発防止効果の研究	具 英成	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	1,200,000	⑤補委 日本学術振興会
小口径人工血管(2mm)吻合部狭窄に対するピオグリタゾンの抑制効果	岡田 健次	心臓血管外科学、心臓血管外科、呼吸器外科学、呼吸器外科、小児外科学、小児	1,300,000	⑤補委 日本学術振興会
肺腺癌浸潤における宿主由来線維芽細胞の役割に関する研究	眞庭 謙昌	心臓血管外科学、心臓血管外科、呼吸器外科学、呼吸器外科、小児外科学、小児	1,100,000	⑤補委 日本学術振興会
TDT解析を用いた日本人子宮内膜症発症関連遺伝子の解明	吉田 茂樹	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	2,000,000	⑤補委 日本学術振興会
婦人科悪性腫瘍におけるリガンド非依存性エストロゲン受容体(ER)活性化機構の解明	須藤 保	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	1,100,000	⑤補委 日本学術振興会
ヒト乳頭腫ウイルス遺伝子を標的とした頭頸部癌に対する遺伝子治療	大月 直樹	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,400,000	⑤補委 日本学術振興会
狭義加齢黄斑変性症とポリプ状脈絡膜血管症におけるブルッフ膜構成分子遺伝子多型	本田 茂	眼科学、眼科	1,400,000	⑤補委 日本学術振興会
糖尿病網膜血管病変の発生と進展に及ぼす網膜神経組織変性の影響	中村 誠	眼科学、眼科	1,300,000	⑤補委 日本学術振興会
脈管奇形病変における血管とリンパ管の客観的識別及びその3次元構造の解明と臨床応用	永田 育子	形成外科学、形成外科、美容外科	1,900,000	⑤補委 日本学術振興会
自己成分培養ゲルと自己骨トレーを併用した幹細胞移植による顎骨再生プロジェクト	綿谷 早苗	口腔外科学、歯科口腔外科	600,000	⑤補委 文部科学省
肺癌進展過程におけるTrkA遺伝子非CpGアイランド領域メチル化の解析	藤本 昌代	病理学(旧分子病理学・北澤研究室)	800,000	⑤補委 文部科学省
LIGHT導入腫瘍細胞を中心とした樹状細胞間質細胞複合融合癌ワクチンの基礎的検討	中村 哲	食道胃腸外科学、食道胃腸外科	800,000	⑤補委 文部科学省
膀胱線維化の抑制に関する基礎的研究と治療法の開発	乃美 昌司	腎泌尿器科学、泌尿器科	700,000	⑤補委 文部科学省
高度医療を担う特定機能病院の看護師への心理的サポート体制構築のための基礎的研究	古城門 靖子	看護部	500,000	⑤補委 文部科学省
早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術におけるナビゲーションシステムの開発	森田 圭紀	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,300,000	⑤補委 文部科学省
上部消化管病巣の高空間分解脳イメージングのためのMR内視鏡システムの開発	松岡 雄一郎	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,000,000	⑤補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
乳がんにおける抗ErbB2モノクローナル抗体の個別化治療を目指す多角的な研究	向原 徹	腫瘍内科学、腫瘍内科、腫瘍センター	1,400,000	補委 文部科学省
血管局所でのオステオプロテグリン制御系を標的とした既存石灰化血管の治療法の探求	白木 里織	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附)	1,600,000	補委 文部科学省
気管支喘息における免疫グロブリンの機能解析	小林 和幸	呼吸器内科学、呼吸器内科	900,000	補委 文部科学省
ジストロフィン遺伝子変異によるエクソスキッピング誘導機構のミニジーンによる解明	起塚 庸	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部、こども発育学部門	1,400,000	補委 文部科学省
最新の遺伝子解析技術を駆使した尿管管輸送体異常症の網羅的遺伝子異常の解明	野津 寛大	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部、こども発育学部門	900,000	補委 文部科学省
アレイCGH法によるDuchenne型筋ジストロフィーの精神遅滞責任領域の同定	親里 嘉展	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部、こども発育学部門	1,100,000	補委 文部科学省
メタボローム解析に基づいた小児白血病患者に対する個別化医療の確立	今西 宏之	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部、こども発育学部門	1,400,000	補委 文部科学省
新生児慢性肺疾患の発症における新規好中球遊走因子に関する研究	森岡 一郎	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部、こども発育学部門	1,200,000	補委 文部科学省
IL-23誘導性抗腫瘍免疫反応におけるTh17及び制御性T細胞の役割	鬼木 俊太郎	皮膚科学、皮膚科	900,000	補委 文部科学省
中枢神経原発悪性リンパ腫におけるオーロラキナーゼの発現・機能解析	水川 克	脳神経外科学、脳神経外科	1,400,000	補委 文部科学省
肩腱板広範囲断裂に対する腱板再生法の確立	國分 毅	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	1,600,000	補委 文部科学省
浸潤性膀胱癌における微小リンパ節転移の検出とその臨床病理学的意義に関する検討	倉橋 俊史	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,300,000	補委 文部科学省
造精機能障害における精巢内細胞間調節機構因子としてのNOの役割と新たな治療戦略	石川 智基	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,100,000	補委 文部科学省
塩酸イリノテカン代謝酵素UGT1A1の遺伝子多型と同薬剤の副作用発現との関連	出口 雅士	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	1,600,000	補委 文部科学省
SPRMの子宮筋腫細胞と正常子宮平滑筋細胞における作用機序の差の解析	松岡 正造	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	1,100,000	補委 文部科学省
TDT解析を利用した遺伝疫学的アプローチによる子宮筋腫発症関連遺伝子の解明	北尾 敬祐	産科婦人科学、産科婦人科、周産母子センター	1,100,000	補委 文部科学省
アポトーシスによる網膜神経節細胞死と網膜グリア細胞の関連	金森 章泰	眼科学、眼科	1,000,000	補委 文部科学省
複合粘膜炎培養法を応用した口腔粘膜癌病変の診断および口腔癌の早期浸潤モデルの開発	南川 勉	口腔外科学、歯科口腔外科	1,600,000	補委 文部科学省
唾液を用いたp53変異遺伝子検出による口腔癌診断の臨床応用	小松原 秀紀	口腔外科学、歯科口腔外科	1,200,000	補委 文部科学省
Wntシグナル伝達系を介する細胞間接着分子カドヘリンの制御機構の解明	村田 真穂	口腔外科学、歯科口腔外科	700,000	補委 文部科学省
網羅的遺伝子多型解析に基づく小児白血病化学療法時の副作用発現の予測と機序解明	中村 任	薬物動態学、薬剤部	1,600,000	補委 文部科学省
骨形成・骨吸収に関与するおとり受容体の解析・前立腺癌とその骨転移における役割	近藤 武史	病理学(旧分子病理学・北澤研究室)	1,000,000	補委 文部科学省
ヘリコバクター感染胃がんモデルにおけるTh細胞の役割	高川 哲也	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	2,200,000	補委 文部科学省
血管内皮一単球の相互作用の制御による新規の抗動脈硬化療法の検討	安田 知行	循環器内科学、循環器内科、冠動脈疾患治療部、不整脈先端治療学部門(寄附)	1,700,000	補委 文部科学省
悪性リンパ系腫瘍におけるTFL遺伝子欠失と臨床病態に関する臨床研究	皆川 健太郎	血液内科学、血液内科、神経内科学、神経内科	2,200,000	補委 文部科学省
ステロイドによるジストロフィン遺伝子のスプライシング修飾とジストロフィン産生	八木 麻理子	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部、こども発育学部門	1,500,000	補委 文部科学省
皮膚樹状細胞の免疫制御における新しい働き	福永 淳	皮膚科学、皮膚科	1,700,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
死後脳研究に基づいた統合失調症候補遺伝子の同定	福武 将映	精神医学、精神科神経科	1,000,000	補委	文部科学省
高磁場MR画像とPET画像を融合させた新たな前立腺がん評価方法の開発	前田 哲雄	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科	2,400,000	補委	文部科学省
過小グラフトを用いた成人生体肝移植の安全性向上に関する研究	尾形 哲	肝胆膵外科学、肝胆膵外科、救急・集中治療センター	1,300,000	補委	文部科学省
椎間板変性メカニズムの解析	前野 耕一郎	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	1,700,000	補委	文部科学省
低出力超音波パルスが新鮮骨折と難治性骨折の治癒に及ぼす作用についての生物学的検討	新倉 隆宏	整形外科学、整形外科、リハビリテーション部	1,200,000	補委	文部科学省
前立腺癌増悪機構における上皮間質相互関係の役割	重村 克巳	腎泌尿器科学、泌尿器科	2,200,000	補委	文部科学省
膀胱癌におけるジェムシタピン耐性克服を目的とした分子標的治療の基礎的研究	村蒔 基次	腎泌尿器科学、泌尿器科	1,100,000	補委	文部科学省
Aurora-Aを介する腎細胞癌及び前立腺癌の進展機構の解明および新規治療の開発	熊野 晶文	腎泌尿器科学、泌尿器科	800,000	補委	文部科学省
経静脈的蝸牛への骨髄間質幹細胞移植	谷本 均	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,700,000	補委	文部科学省
fMRIと近赤外線酸素モニターを用いた嗅覚の中樞機構解明に関する研究	土井 清司	耳鼻咽喉科頭頸部外科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,100,000	補委	文部科学省
ベッドサイドで簡単に行える創傷チェッカーの開発	榊原 俊介	形成外科学、形成外科、美容外科	2,000,000	補委	文部科学省
活性酸素種発生を利用した陽子線治療・天然化合物併用療法の開発	出水 祐介	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科	1,350,000	補委	日本学術振興会
メタボローム解析による大腸がんのバイオマーカー探索	奥野 達哉	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,340,000	補委	日本学術振興会
早期食道癌全周性切除後狭窄に対する予防法の開発	豊永 高史	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,340,000	補委	日本学術振興会
IL-1 $\beta$ とインテグリンとの直接結合によるシグナル伝達機構の解析	三枝 淳	臨床検査医学	1,340,000	補委	日本学術振興会
放射線抵抗性を規定するNF-kappaB活性化の基礎的・臨床的意義の検討	河邊 哲也	放射線医学、放射線科、放射線部、放射線腫瘍科	1,340,000	補委	日本学術振興会
進行肺癌に対する術前抗癌剤粒子線併用療法の確立に向けての基礎的研究	黒田 嘉和	食道胃腸外科学、食道胃腸外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
組織標本上での遺伝子特定部位のメチル化シトシンin situ検出法の開発	北澤 莊平	病理学(旧分子病理学・北澤研究室)	800,000	補委	日本学術振興会
MR内視鏡の開発	東 健	消化器内科学、消化器内科、ICMRT(東)難治疾患病態解析学、光学医療治療部	1,200,000	補委	日本学術振興会
PGC1 $\alpha$ 新規アイソフォームのエネルギ代謝制御における機能の解析	小川 涉	糖尿病・代謝・内分泌内科学、糖尿病・内分泌内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
アディポネクチンホモログHYPU1の糖代謝、摂食における生理作用の解明	千原 和夫	(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、内分泌グループ、カルシウム骨代謝グループ	1,500,000	補委	日本学術振興会
骨免疫調節ホルモン/サイトカインによる造血制御メカニズムの解明	松井 利充	血液内科学、血液内科、神経内科学、神経内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
シンクロトロンによるマイクロビームを用いた悪性脳腫瘍の新しい治療法の確立	甲村 英二	脳神経外科学、脳神経外科	1,400,000	補委	日本学術振興会
脱細胞血管をスキャフォールドとした小口径人工血管モデルの作製	田原 真也	形成外科学、形成外科、美容外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
嚢胞嚢装ケラチノサイトの細胞代謝機能と幹細胞局在における由来上皮間比較	古森 孝英	口腔外科学、歯科口腔外科	800,000	補委	日本学術振興会
自動点訳プログラムを利用した視覚障害者向け点字文書提供システム構築の試み	大島 敏子	看護部	800,000	補委	日本学術振興会
レトロトランスポジション能を有する新規ヒト遺伝子のクローニング	松尾 雅文	小児科学、小児科、周産母子センター(子)、親と子の心療部、こども発達学部門	3,200,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
成長ホルモン、IGF-Iによる非アルコール性脂肪性肝炎の治療応用	高橋 裕	(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、内分泌グループ、カルシウム骨代謝グループ	8,000,000	補委 文部科学省
頭頸部扁平上皮癌根絶治療後のTS-1補助化学療法の検討	丹生 健一	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	¥315,000	補委 財団法人先端医療振興財団
インスリンの標的細胞・臓器におけるシグナル伝達・代謝経路の解析	小川 涉	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学	¥8,000,000	補委 独立行政法人 科学技術振興機構
MCI(軽度認知障害患者)を対象としたアルツハイマー型痴呆の早期診断に関する研究	前田 潔	精神神経科学	¥94,500	補委 財団法人 長寿科学振興財団
18公-1 拡張性動脈硬化疾患における破裂の予測的画像診断法の開発と確立に関する研究	大北 裕	呼吸循環器外科学	¥1,400,000	補委 国立循環器病センター
NEDOプロジェクト「基礎から臨床への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/アルツハイマー病総合診断体系実用化プロジェクト……」	前田 潔	精神神経科学	¥890,350	補委 バイオテクノロジー開発技術研究組合
筋ジストロフィーに対する治療研究を臨床に展開するための統括的研究	松尾 雅文	小児科学	¥2,500,000	補委 支出負担行為担当官 国立精神・神経センター
筋ジストロフィーの臨床試験実施体制構築に関する研究	竹島泰弘	小児科学	¥1,000,000	補委 支出負担行為担当官 国立精神・神経センター
胃発癌病原性ヘリコバクターピロリ感染診断の開発とその臨床応用	東 健	附属医学医療国際交流センター	¥1,539,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ大阪
腹部臓器の高分解能MR撮像のための体内RFコイル開発	松岡 雄一郎	消化器内科学分野	¥1,539,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ大阪
新規がん抑制遺伝子FLの遺伝子診断法	松井 利充	血液内科学	¥1,539,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ大阪
ヘリコバクターピロリ感染による胃癌誘導因子の疫学的解析研究	東 健	医学医療国際交流センター	¥8,461,539	補委 支出負担行為担当官 文部科学省研究振興局長
アンチセンスオリゴヌクレオチドを用いたデュシェンヌ型筋ジストロフィーオーダーメイド医療を産業化するシステムの確立	松尾雅文	小児科学	¥34,826,000	補委 NED(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構
認知症、運動器疾患等の長寿(老年)医療に係るネットワーク等社会基盤構築に関する研究	前田 潔	精神神経科学	¥1,200,000	補委 支出負担行為担当官 国立長寿医療センター 運営局次長 長谷川 博
乳幼児健康診査における発達障害の兆候の早期発見に関する研究	松尾雅文	小児科学	¥769,000	補委 神戸市代表者 神戸市長 矢田立郎
虚性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究	川合宏哉	循環器内科	¥8,077	補委 財団法人循環器病研究振興財団
Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究	神垣 隆	食道胃腸外科	¥210,000	補委 財団法人先端医療振興財団
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験(J-DIT3)	坂口 一彦	糖尿病内科	¥2,500,000	補委 財団法人 国際協力医学研究振興財団
膵がん切除後の補助化学療法における塩酸ゲムシタビン療法とS-1療法の第三症例比較試験	具 英成	肝胆膵外科	¥805,000	補委 財団法人しずおか産業創造機構
食道癌におけるMR内視鏡システムを用いた新たな診断法の開発	森田 圭紀	消化器内科	¥1,539,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ大阪
メタボローム解析を用いた農薬およびその代謝物の高感度測定系の確立	平井みどり	薬剤部	¥1,539,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ大阪
メタボローム解析を用いた各種呼吸器検体の比較と新たなバイオマーカーの確立	小林 和幸	呼吸器内科	¥1,539,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ大阪
切除不能・再発結腸/直腸がん初回化学療法例に対する5-fluorouracil(5-FU)/	奥野達哉	消化器内科	¥807,691	補委 特定非営利活動法人西日本がん研究機構
高齢者包括的・全人的医療に関わる標準的医療システムの開発に関する研究	櫻井 孝	老年内科	¥1,500,000	補委 支出負担行為担当官 国立長寿医療センター
治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討	神垣 隆	食道胃腸外科	¥31,500	補委 財団法人がん集学的治療研究財団
二国間交流事業(ベトナム:ヘリコバクターピロリ感染症による胃癌リスク解析)	東 健	消化器内科	¥2,497,000	補委 独立行政法人日本学術新興会 理事長 小野元之
軽度認知障害者を対象とするPET及びfMRIによる臨床研究における認知機能検査等のデータの収集・整理・分析	前田 潔	精神神経科学	¥1,200,000	補委 財団法人 先端医療振興財団 先端医療センター研究

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
救急活動に関する事後検証	石井昇	救急部	¥2,763,600	補委	神戸市
急性冠症候群の疾患モデルウサギの開発及びバイオリソースの樹立	塩見 雅志	医学研究科附属感染症センター	9,940,000	補委	厚生労働省
救急医療体制の推進に関する研究	石井 昇	救急部	900,000	補委	厚生労働省
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	大北 裕	心臓欠陥外科学	500,000	補委	厚生労働省
がんの腹膜播種に対する標準的治療の確立に関する研究	奥野 達哉	消化器内科	800,000	補委	厚生労働省
神経皮膚症候群に関する調査研究	荻田 典生	神経内科、神経内科学	1,200,000	補委	厚生労働省
ANCA関連血管炎のわが国における治療法の確立のための多施設協同前向き臨床研究	熊谷 俊一	免疫・感染内科学、免疫内科、検査部、輸血部	400,000	補委	厚生労働省
腰痛患者に対する3.0テスラMRIを用いての高精度画像診断技術の確立と腰痛の増悪因子の解明に関する研究	黒坂 昌弘	整形外科、整形外科、リハビリテーション部	3,800,000	補委	厚生労働省
神経皮膚症候群に関する調査研究	錦織千佳子	皮膚科学、皮膚科	2,500,000	補委	厚生労働省
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	藤澤 正人	腎泌尿器科学、泌尿器科	300,000	補委	厚生労働省
原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	南 博信	腫瘍内科学、腫瘍内科	700,000	補委	厚生労働省
早期消化器がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究	森田 圭紀	消化器内科学、消化器内科	700,000	補委	厚生労働省
Duchenne型筋ジストロフィーのエクソスキッピング誘導治療	松尾 雅文	小児科学	23,000,000	補委	厚生労働省
探索医療の成果としての脾臓移植の確立	黒田 嘉和	消化器外科学	8,700,000	補委	厚生労働省
高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用と基盤的研究	千原 和夫	(糖尿病・代謝・内分泌内科学)、内分泌グループ、カルシウム骨代謝グループ	1,300,000	補委	厚生労働省
同種造血幹細胞移植治療の成績向上を目指した包括的臨床研究	松井 利充	血液内科学、血液内科	1,000,000	補委	厚生労働省
新規リードスルー惹起物質によるナンセンス変異型筋疾患治療のための前臨床試験	松尾 雅文	小児科学	1,000,000	補委	厚生労働省
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	南 博信	腫瘍内科学、腫瘍内科	4,000,000	補委	厚生労働省
臓器移植や悪性腫瘍による免疫低下状態で発生するウイルス感染症の予防と治療に関する研究	森 康子	医学研究科附属感染症センター	69,615,000	補委	厚生労働省
効果的転倒予測技術の開発と転倒予防介入による生活機能の持続的改善効果に関する縦断研究	櫻井 孝	老年内科学、老年内科	1,000,000	補委	厚生労働省
新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断の精度の向上に関する研究	杉村 和朗	放射線医学、放射線科、放射線部	3,000,000	補委	厚生労働省
予防接種で予防可能疾患の今後の感染症対策に必要な予防接種に関する研究	森 康子	医学研究科附属感染症センター	2,000,000	補委	厚生労働省
抗悪性腫瘍治療薬を最適化するための臨床薬理学的研究	南 博信	腫瘍内科学、腫瘍内科	12,870,000	補委	厚生労働省
生検組織や細胞を用いたがんの治療感受性予知法および治療効果判定法の確立に関する研究	横崎 宏	病理学	14,020,000	補委	厚生労働省
生検組織や細胞を用いたがんの治療感受性予知法および治療効果判定法の確立に関する研究	東 健	医学医療国際交流センター(東)	1,300,000	補委	厚生労働省
がんの診断治療用光学機器の開発	豊永 高史	消化器内科学、消化器内科	1,800,000	補委	厚生労働省
がんの集学的治療の早期開発の研究体制確立に関する研究	南 博信	腫瘍内科学、腫瘍内科	1,000,000	補委	厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
食道腺癌の高危険群の同定および予防介入試験に関する研究	森田 圭紀	消化器内科学、消化器内科	1,200,000	補 委	厚生労働省

計 187

- (注)
- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
  - 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
  - 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床放射線	[3T MRIの現状と展望] 3T MRIによる関節軟骨の描出 軟骨修復の経路法 関節軟骨の修復治療と3T MRI	藤井正彦, 岩間祐基, 後藤一, 青山信和, 川光秀昭, 黒田祐介, 黒坂昌弘, 杉村和朗	放射線部
Ann Thorac Surg	Curved nitinol stent-graft placement for treating blunt thoracic aortic injury: an early experience	Yamaguchi M, Sugimoto K, Tsukube T, Mori T, Kawahira T, Hayashi T, Nakamura M, Kawasaki R, Sandhu RS, Sugimura K, Kozawa S, Okita Y	放射線部
J Spinal Disord Tech	Dynamic evaluation of the spinal cord in patients with cervical spondylotic myelopathy using a kinematic magnetic resonance imaging technique	Miura J, Doita M, Miyata K, Marui T, Nishida K, Fujii M, Kurosaka M	放射線部
J Neuroimaging	Reduced Fractional Anisotropy in Early-Stage Cerebellar Variant of Multiple System Atrophy	Oishi K, Konishi J, Mori S, Ishihara H, Kawamitsu H, Fujii M, Kanda F	放射線部
Eur Radiol	Prospective comparison of high- and low-spatial-resolution dynamic MR imaging with sensitivity encoding (SENSE) for hypervascular hepatocellular carcinoma	Tsurusaki M, Semelka RC, Uotani K, Sugimoto K, Fujii M, Sugimura K	放射線部
日本整形外科学会雑誌	G-CSF 動員ヒト末梢血CD34陽性細胞による偽関節治療	渡船泰, 松本知之, 黒田良祐, 川本彰彦, 三輪雅彦, 庄司太郎, 黒田知也, 浅原孝之, 黒坂昌弘	リハビリテーション部
日本整形外科学会雑誌	膝蓋下脂肪体由来間質細胞における軟骨分化誘導後の superficial zone protein(SZP) 産生の検討	李相亮, 三輪雅彦, 新倉隆宏, 黒田良祐, 黒坂昌弘, Redd Han A	リハビリテーション部
日本整形外科学会雑誌	ヒト新鮮骨折において、低出力超音波パルス(LIPUS)は骨折血腫細胞の骨分化を促進する	岩倉崇, 長谷川巧実, 三輪雅彦, 新倉隆宏, 酒井良忠, 大江啓介, 李相亮, 黒坂昌弘	リハビリテーション部
日本整形外科学会雑誌	Fas ligandはラット由来骨髄間葉系細胞の骨分化を抑制する	酒井良忠, 三輪雅彦, 大江啓介, 新倉隆宏, 岩倉崇, 李相亮, 黒坂昌弘	リハビリテーション部
骨折	大腿骨、腰骨の偽関節に対する硬内打入れ器と自家骨移植による偽関節手術	新倉隆宏, 三輪雅彦, 酒井良忠, 大江啓介, 岩倉崇, 黒坂昌弘	リハビリテーション部
骨折	厚皮性偽関節の治療成績 偽関節組織の生物学的活性という視点より検討する	岩倉崇, 三輪雅彦, 酒井良忠, 新倉隆宏, 大江啓介, 黒坂昌弘	リハビリテーション部
副甲状腺インターベンションガイド	腎不全における副甲状腺機能亢進症の発症機序	後藤俊介, 深川雅史	腎・血液浄化センター
副甲状腺インターベンションガイド	内科的治療とその限界	駒塚大峰, 深川雅史	腎・血液浄化センター
老年消化器病	[高齢者における内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)] 高齢者に対するESDの周術期管理	万井真理子, 豊永高史, 森田圭紀, 久津見弘, 井口秀人, 東健	光学医療診療部
Acta Chir Jugosl	The results and limitations of endoscopic submucosal dissection for colorectal tumors	Toyanaga T, Man-I M, Ivanov D, Sanuki T, Morita Y, Kutsumi H, Inokuchi H, Azuma T	光学医療診療部
日本環境感染学会誌	ICU院内ラウンドによる抗MRSA薬適正使用への取り組みに関する評価	山下和彦, 中村任, 田中健太, 李京子, 木下承浩, 横山直樹, 柴田敏之, 平井みどり, 荒川憲一	薬剤部
医療薬学	食道がん化学放射線療法における病期, 奏効と予後との相関	奥原晶子, 山森元博, 梶本博雄, 西口工司, 八木敬子, 奥野達哉, 茶屋原英穂子, 三木生也, 田村孝雄, 平井みどり, 柴田敏之	薬剤部
TDM研究	食道がん化学放射線療法における5-フルオロウラシル血漿中濃度と治療効果との相関	奥原晶子, 山森元博, 門脇祐子, 八木敬子, 中村任, 奥野達哉, 茶屋原英穂子, 三木生也, 田村孝雄, 平井みどり, 柴田敏之	薬剤部
TDM研究	食道がん化学放射線療法における5-フルオロウラシル血漿中濃度と副作用との相関	奥原晶子, 山森元博, 中村任, 西口工司, 奥野達哉, 茶屋原英穂子, 三木生也, 田村孝雄, 平井みどり, 片岡和三部, 柴田敏之	薬剤部
Curr Drug Deliv	Pharmacogenetics of intestinal absorption	Nakamura T, Yamamori M, Sakaeda T	薬剤部
Am J Clin Oncol	Phase I and pharmacokinetic study of tegafur-uracil/leucovorin combined with 5-fluorouracil/leucovorin and irinotecan in patients with advanced colorectal cancer	Chayahara N, Tamura T, Yamamori M, Kadawaki Y, Okuno T, Miki I, Tsuda M, Nishisaki H, Maeda T, Inoue Y, Okumura K, Azuma T, Kasuga M, Sakaeda T, Hirai M	薬剤部
Int J Hematol	Pharmacokinetics-based optimal dose-exploration of mycophenolate mofetil in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Okamura A, Yamamori M, Shimoyama M, Kawano Y, Kawano H, Kawamori Y, Nishikawa S, Minagawa K, Yakushiji K, Katayama Y, Sakaeda T, Hirai M, Matsui T	薬剤部
Ann N Y Acad Sci	Autoreactive T cell response in CD25-negative fraction of peripheral blood mononuclear cells in established type 1 diabetes	Moriyama H, Kotani R, Katsuta A, Kameno M, Arai T, Okumachi Y, Kishi M, Yamada K, Yasuda H, Hara K, Yokono K, Nagata M	老年内科
老年消化器病	[高齢者における内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)] 高齢者に対するESDの周術期管理	万井真理子, 豊永高史, 森田圭紀, 久津見弘, 井口秀人, 東健	消化器内科
J Gastroenterol	Newly developed surface coil for endoluminal MRI: depiction of pig gastric wall layers and vascular architecture in ex vivo study	Morita Y, Kutsumi H, Yoshinaka H, Matsuoka Y, Kuroda K, Gotanda M, Sekino N, Kumamoto E, Yoshida M, Inokuchi H, Azuma T	消化器内科
Magn Reson Imaging	Abdominal apparent diffusion coefficient measurements: effect of diffusion-weighted image quality and usefulness of anisotropic images	Yoshikawa T, Ohno Y, Kawamitsu H, Ku Y, Seo Y, Zamora CA, Aoyama N, Sugimura K	消化器内科
Am J Clin Oncol	Phase I and pharmacokinetic study of tegafur-uracil/leucovorin combined with 5-fluorouracil/leucovorin and irinotecan in patients with advanced colorectal cancer	Chayahara N, Tamura T, Yamamori M, Kadawaki Y, Okuno T, Miki I, Tsuda M, Nishisaki H, Maeda T, Inoue Y, Okumura K, Azuma T, Kasuga M, Sakaeda T, Hirai M	消化器内科
Acta Chir Jugosl	The results and limitations of endoscopic submucosal dissection for colorectal tumors	Toyanaga T, Man-I M, Ivanov D, Sanuki T, Morita Y, Kutsumi H, Inokuchi H, Azuma T	消化器内科
Radiology	Non-small cell lung cancer: whole-body MR examination for M-stage assessment—utility for whole-body diffusion-weighted imaging compared with integrated FDG PET/CT	Ohno Y, Koyama H, Onishi Y, Takenaka D, Nogami M, Yoshikawa T, Matsumoto S, Kotani Y, Sugimura K	呼吸器内科
Ann Thorac Cardiovasc Surg	Effective chemotherapy based on a chemosensitivity test for malignant pleural mesothelioma	Maniwa Y, Yoshimura M, Tekata M, Nishimura Y, Ohno Y	呼吸器内科
Eur Radiol	Quantitative and qualitative assessment of non-contrast-enhanced pulmonary MR imaging for management of pulmonary nodules in 161 subjects	Koyama H, Ohno Y, Kono A, Takenaka D, Maniwa Y, Nishimura Y, Ohbayashi C, Sugimura K	呼吸器内科
J Magn Reson Imaging	Dynamic MRI, dynamic multidetector-row computed tomography (MDCT), and coregistered 2-[fluorine-18]-fluoro-2-deoxy-D-glucose-positron emission tomography (FDG-PET)/CT: comparative study of capability for management of pulmonary nodules	Ohno Y, Koyama H, Takenaka D, Nogami M, Maniwa Y, Nishimura Y, Ohbayashi C, Sugimura K	呼吸器内科
J Neuroimaging	Reduced Fractional Anisotropy in Early-Stage Cerebellar Variant of Multiple System Atrophy	Oishi K, Konishi J, Mori S, Ishihara H, Kawamitsu H, Fujii M, Kanda F	神経内科
皮膚の科学	皮膚超音波検査によるセンチネルリンパ節の画像診断	佐々木祥人, 神百晴久, 長野敏, 福岡由子, 熊谷俊一, 齋藤千佳子	免疫内科
日本検査血液学会雑誌	CD7-5-2- の発現パターンを示す急性未分化白血病の一例における形質検索	磯野響紀, 沼田圭子, 北村典子, 西垣真海美, 岡村明治, 杉原光哉, 近藤信一, 西條勝彦, 津原幸江, 河野誠司, 熊谷俊一, 奥原京記, 古田香穂, メイラン・シアンブルナフテ, 英英二	免疫内科
J Plast Reconstr Aesthet Surg	Haemodynamic changes in the fingers after free radial forearm flap transfer: a prospective study using SPP	Yanagisawa A, Hashikawa K, Sugiyama D, Makiguchi T, Yanagi H, Kumagai S, Yokoo S, Terashi H, Tahara S	免疫内科

日本臨床免疫学会誌	急性脱髄性末梢神経障害(AIDP)と眼筋型重症筋無力症(眼筋型MG)を呈したNPSLEの一例	宮川佳澄, 三崎健太, 林宏樹, 辻剛, 河野誠司, 森信隆雄, 熊谷俊一	免疫内科
日本小児科学会雑誌	Duchenne型筋ジストロフィーにおける下肢上肢による心機能評価の有用性	起塚麻, 竹島泰弘, 八木麻理子, 斐野宏之, 大西哲存, 川谷宏哉, 山本哲志, 熊谷俊一, 松尾雅文	免疫内科
臨床病理	自己抗体検査の全国サーベイとそれに基づく標準化の検討	熊谷俊一, 林仲英, 大田俊行, 赤星透, 今福裕司, 小柴賢洋	免疫内科
Laboratory and Clinical Practice	RF標準化の問題点とお願い	熊谷俊一	免疫内科
Ann Rheum Dis	Impact of smoking as a risk factor for developing rheumatoid arthritis: A meta-analysis of observational studies	Sugiyama D, Nishimura K, Tamaki K, Tsuji G, Nakazawa T, Morinobu A, Kumagai S	免疫内科
Rinsho Byori	New biomarkers for rheumatoid arthritis	Hayashi N, Nishimura K, Kumagai S	免疫内科
日本検査血液学会雑誌	ST合剤投与によりペルグル様抗体異常を認めた顕微鏡的多発血管炎の一例	松永昌子, 西郷麻理, 増田由佳子, 迫田裕之, 豆麻彰, 三崎健太, 辻剛, 中澤隆, 河野誠司, 熊谷俊一	免疫内科, 検査部
臨床病理	レムナントリポ蛋白コレステロール測定法の免疫吸着法と直接法との比較検討	佐原麻理, 佐藤伊都子, 林富士夫, 杉山大典, 河野誠司, 藤岡由夫, 石川雄一, 熊谷俊一	免疫内科, 検査部
Mod Rheumatol	Prevalence of disease-specific antinuclear antibodies in general population: estimates from annual physical examinations of residents of a small town over a 5-year period	Hayashi N, Koshiba M, Nishimura K, Sugiyama D, Nakamura T, Morinobu S, Kawano S, Kumagai S	免疫内科, 検査部
Mod Rheumatol	A case of periodic-fever-syndrome-like disorder with lipodystrophy, myositis, and autoimmune abnormalities	Kasagi S, Kawano S, Nakazawa T, Sugino H, Koshiba M, Ichinose K, Ida H, Eguchi K, Kumagai S	免疫内科, 検査部
臨床病理	血清シタステンCを用いたクレアチニンクリアランス推算式の作成と有用性	大藪智美, 林仲英, 杉山大典, 梅津道夫, 本下承徳, 林宏樹, 河野誠司, 熊谷俊一	免疫内科, 検査部
Transfus Apher Sci	Automatic detection of immature platelets for decision making regarding platelet transfusion indications for pediatric patients	Saigo K, Sakota Y, Mesuda Y, Matsunaga K, Takenokuchi M, Nishimura K, Sugimoto T, Sakurai K, Hashimoto M, Yanai T, Hayakawa A, Takeshima Y, Nomura T, Kubota Y, Kumagai S	免疫内科, 検査部
Intern Med	Successful treatment of pyoderma gangrenosum associated with myelodysplastic syndrome using high-dose intravenous immunoglobulin	Tamaki K, Nakazawa T, Mamehara A, Tsuji G, Saigo K, Kawano S, Morinobu A, Kumagai S	免疫内科, 検査部
J Atheroscler Thromb	Significance of measuring serum concentrations of remnant lipoproteins and apolipoprotein B-48 in fasting period	Seto I, Ishikawa Y, Ishimoto A, Katsura S, Toyokawa A, Hayashi F, Kawano S, Fujioka Y, Yamashita S, Kumagai S	免疫内科, 検査部
Leuk Res	DR negativity is a distinctive feature of M1/M2 AML cases with NPM1 mutation	Syampurnawati M, Tatsumi E, Ardanto B, Takenokuchi M, Nakamochi Y, Kawano S, Kumagai S, Saigo K, Matsui T, Takahashi T, Nagai KI, Gunadi, Nishio H, Yabe H, Kondo SI, Hayashi Y	免疫内科, 検査部, 輸血部
Am J Kidney Dis	Characterization of a splicing abnormality in Gitelman syndrome	Ida K, Nozu K, Takahashi Y, Okimura Y, Kaji H, Matsuo M, Chihara K	糖尿病・内分泌内科
生物の科学 遺伝	マウスにおける肥満促進遺伝子の発見-新たな肥満治療戦略のヒント-	細岡哲也, 野口哲也, 春日雅人	糖尿病・内分泌内科
実験医学増刊号	Dok1と肥満、インスリンシグナル	野口哲也, 細岡哲也, 春日雅人	糖尿病・内分泌内科
実験医学	脂肪細胞の肥大化とDok1	野口哲也, 細岡哲也, 春日雅人	糖尿病・内分泌内科
Kobe J Med Sci	Growth hormone stimulates mechano growth factor expression and activates myoblast transformation in C2C12 cells	Imanaka M, Ida K, Murawaki A, Nishizawa H, Fukuoka H, Takeno R, Takahashi Y, Okimura Y, Kaji H, Chihara K	糖尿病・内分泌内科
J Pediatr Endocrinol Metab	Difference between Japanese and Caucasian populations in the allelic frequency of growth hormone receptor polymorphisms	Ida K, Takahashi Y, Kaji H, Okimura Y, Nose O, Chihara K	糖尿病・内分泌内科
臨床血液	造血幹細胞移植後の類洞閉塞症候群に対するデフィブロタイドの有効性の検討	藤野神公和, 岡村篤夫, 小野香菜子, 川野裕子, 川野宏樹, 船越洋平, 川森有里子, 西川真一郎, 皆川健太郎, 定明子, 下山学, 山本克也, 片山雄雄, 松井利充	血液内科
血液・腫瘍科	好酸球増多症候群(HES)における分子異常	定明子, 松井利充	血液内科
Biol Blood Marrow Transplant	Unrelated cord blood transplantation for severe aplastic anemia	Yoshimi A, Kojima S, Taniguchi S, Hara J, Matsui T, Takahashi Y, Azuma H, Kato K, Nagamura-Inoue T, Kei S, Kato S	血液内科
Int J Hematol	Pharmacokinetics-based optimal dose-exploration of mycophenolate mofetil in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Okamura A, Yamamori M, Shimoyama M, Kawano Y, Kawano H, Kawamori Y, Nishikawa S, Minagawa K, Yakushiji K, Katayama Y, Sakaeda T, Hirai M, Matsui T	血液内科
Nat Biotechnol	Treatment of arthritis with a selective inhibitor of c-Fos/activator protein-1	Aikawa Y, Morimoto K, Yamamoto T, Ohaki H, Hashimoto A, Narita H, Hirono S, Shiozawa S	リウマチ科
Transfus Apher Sci	Automatic detection of immature platelets for decision making regarding platelet transfusion indications for pediatric patients	Saigo K, Sakota Y, Mesuda Y, Matsunaga K, Takenokuchi M, Nishimura K, Sugimoto T, Sakurai K, Hashimoto M, Yanai T, Hayakawa A, Takeshima Y, Nomura T, Kubota Y, Kumagai S	小児科
Am J Kidney Dis	Characterization of a splicing abnormality in Gitelman syndrome	Ida K, Nozu K, Takahashi Y, Okimura Y, Kaji H, Matsuo M, Chihara K	小児科
J Hum Genet	Tandem duplications of two separate fragments of the dystrophin gene in a patient with Duchenne muscular dystrophy	Zhang Z, Takeshima Y, Awano H, Nishiyama A, Okizuka Y, Yagi M, Matsuo M	小児科
Pediatr Int	SMN2 and NAIP gene dosages in Vietnamese patients with spinal muscular atrophy	Tren VK, Sasongko TH, Hong DD, Hoan NT, Dung VC, Lee MJ, Gunadi, Takeshima Y, Matsuo M, Nishio H	小児科
Pediatr Neurol	High incidence of electrocardiogram abnormalities in young patients with duchenne muscular dystrophy	Takami Y, Takeshima Y, Awano H, Okizuka Y, Yagi M, Matsuo M	小児科
Clin Chim Acta	Wide ranges of serum myostatin concentrations in Duchenne muscular dystrophy patients	Awano H, Takeshima Y, Okizuka Y, Saiki K, Yagi M, Matsuo M	小児科
Genet Test Mol Biomarkers	Small mutations detected by multiplex ligation-dependent probe amplification of the dystrophin gene	Okizuka Y, Takeshima Y, Awano H, Zhang Z, Yagi M, Matsuo M	小児科
Ann Hum Genet	Dystrophin nonsense mutations can generate alternative rescue transcripts in lymphocytes	Nishiyama A, Takeshima Y, Zhang Z, Habara Y, Tran TH, Yagi M, Matsuo M	小児科
J Med Genet	In vitro splicing analysis reveals that availability of a cryptic splice site is not a determinant for alternative splicing patterns caused by 1G&gt;A mutations in introns of the dystrophin gene	Habara Y, Takeshima Y, Awano H, Okizuka Y, Zhang Z, Saiki K, Yagi M, Matsuo M	小児科
Pediatr Nephrol	Detection of large deletion mutations in the COL4A5 gene of female Alport syndrome patients	Nozu K, Przybyslaw Krol R, Ohtsuka Y, Nakanishi K, Yoshikawa M, Nozu Y, Keito H, Kende K, Hashimura Y, Hamasaki Y, Iijima K, Matsuo M	小児科

Pediatr Nephrol	Detection by multiplex ligation-dependent probe amplification of large deletion mutations in the COL4A5 gene in female patients with Alport syndrome	Nozu K, Kroi RP, Nakanishi K, Yoshikawa N, Nozu Y, Ohtsuka Y, Iijima K, Matsuo M	小児科
Pediatr Int	Two Japanese infants with congenital generalized lipodystrophy due to BSCL2 mutations	Nishiyama A, Yagi M, Awano H, Okizuka Y, Maeda T, Yoshida S, Takeshima Y, Matsuo M	小児科
Pediatr Nephrol	Atypical phenotype of type I Bartter syndrome accompanied by focal segmental glomerulosclerosis	Yamazaki H, Nozu K, Narita I, Nagata M, Nozu Y, Fu XJ, Matsuo M, Iijima K, Gejyo F	小児科
精神・神経疾患研究委託研究費平成17～19年度最終研究報告書	感情障害治療における非定型抗精神病薬の有用性「脳画像解析と生物学的指標を用いた精神疾患の診断と治療効果の判定への応用に関する研究」	白川治、河内京、西向浩隆、福武将秋、毛利健太郎、白岩森一、崔虎呈、柳雅也、西口直希、松尾るみ、前田潔、小西淳也、川光秀昭、藤井雅彦、杉村和朗、大西隆	精神科神経科
文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「ゲノム」4領域2008年度報告書	アルツハイマー病の関連遺伝子探索研究	武田雅俊、森原剛史、田中稔久、赤津裕彦、新井平伊、中島健二、前田潔、山岡英久	精神科神経科
Neuropsychopharmacology	Association of RGS2 Gene Polymorphisms with Suicide and Increased RGS2 Immunoreactivity in the Postmortem Brain of Suicide Victims	Cui H, Nishiguchi N, Iwema E, Yanagi M, Fukutake M, Nishida H, Ueno Y, Kitamura N, Maeda K, Shirakawa O	精神科神経科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	Association of alpha2A-adrenergic receptor gene polymorphism with susceptibility to suicide in Japanese females	Fukutake M, Hishimoto A, Nishiguchi N, Nishida H, Ueno Y, Shirakawa O, Maeda K	精神科神経科
Magn Reson Imaging	Abdominal apparent diffusion coefficient measurements: effect of diffusion-weighted image quality and usefulness of anisotropic images	Yoshikawa T, Ohno Y, Kawamitsu H, Ku Y, Seo Y, Zamora CA, Aoyama N, Sugimura K	放射線科
MRI of the Lung	Lung Cancer	I. Ohno Y, Koyama H, Dinkel J, Hintze C	放射線科
肺癌の臨床	MRIによる肺癌診断	大野良治	放射線科
Radiology	Non-small cell lung cancer: whole-body MR examination for M-stage assessment—utility for whole-body diffusion-weighted imaging compared with integrated FDG PET/CT	Ohno Y, Koyama H, Onishi Y, Takenaka D, Nogami M, Yoshikawa T, Matsumoto S, Kotani Y, Sugimura K	放射線科
癌の臨床	【OncoImagingの最先端】肺癌診断における画像診断の最近の進歩	大野良治	放射線科
日本胸部臨床	【胸部画像診断の進歩とピットフォール】MR	岩澤多直、大野良治	放射線科
臨床放射線	【COPD画像診断の最前線】 Pulmonary functional MR imagingによるCOPDの評価	大野良治	放射線科
日本胸部臨床	【呼吸器疾患の臨床検査up to date】画像検査 MRIを用いた呼吸器疾患診断の進歩	大野良治	放射線科
肺癌	胸部MDCTを用いたコンピューター支援診断	大野良治、松本利明、尾西由美子、神山久信、野上宗伸、竹中大祐、松本敬子、山形仁、杉村和朗	放射線科
呼吸器科	MRを用いた肺機能診断	大野良治、尾西由美子、松本敬子、神山久信、野上宗伸、竹中大祐、青山信和、杉村和朗	放射線科
Radiat Med	Computer-aided detection of lung nodules on multidetector row computed tomography using three-dimensional analysis of nodule candidates and their surroundings	Matsumoto S, Ohno Y, Yamagata H, Takenaka D, Sugimura K	放射線科
J Magn Reson Imaging	Dynamic perfusion MRI: capability for evaluation of disease severity and progression of pulmonary arterial hypertension in patients with connective tissue disease	Ohno Y, Koyama H, Nogami M, Takenaka D, Matsumoto S, Onishi Y, Matsumoto K, Murase K, Sugimura K	放射線科
Magn Reson Imaging Clin N Am	Functional MR imaging of the lung	Matsuoka S, Hunsaker AR, Gill RR, Jacobson FL, Ohno Y, Patz S, Hatabu H	放射線科
Ann Thorac Cardiovasc Surg	Effective chemotherapy based on a chemosensitivity test for malignant pleural mesothelioma	Maniwa Y, Yoshimura M, Takata M, Nishimura Y, Ohno Y	放射線科
Eur Radiol	Quantitative and qualitative assessment of non-contrast-enhanced pulmonary MR imaging for management of pulmonary nodules in 161 subjects	Koyama H, Ohno Y, Kono A, Takenaka D, Maniwa Y, Nishimura Y, Ohbayashi C, Sugimura K	放射線科
J Magn Reson Imaging	Dynamic MRI, dynamic multidetector-row computed tomography (MDCT), and coregistered 2-[fluorine-18]-fluoro-2-deoxy-D-glucose-positron emission tomography (FDG-PET)/CT: comparative study of capability for management of pulmonary nodules	Ohno Y, Koyama H, Takenaka D, Nogami M, Maniwa Y, Nishimura Y, Ohbayashi C, Sugimura K	放射線科
AJR Am J Roentgenol	Endovascular treatment for visceral vessel complication after branched graft replacement: initial results	Kawasaki R, Sugimoto K, Taniguchi T, Yamaguchi M, Fujii M, Sugimura K, Okita Y	放射線科、放射線部
放射線治療を受ける患者の看護ケア	【放射線照射】最新放射線治療にはどのようなものがありますか？	西村英輝、佐々木良平	放射線腫瘍科
癌と薬	最先端放射線治療のキーワード 定位放射線照射	西村英輝	放射線腫瘍科
がん看護	【がん患者の放射線療法と看護】知っておきたい放射線治療の方法 高精度放射線治療 IMRT(強度変調放射線治療)を中心に	佐々木良平、岡本欣晃、西村英輝	放射線腫瘍科
皮膚の科学	皮膚超音波検査によるセンチネルリンパ節の画像診断	佐々木祥人、神吉晴久、長野徹、福岡恵子、熊谷俊一、鈴織千佳子	皮膚科
皮膚科サブスペシャリティーシリーズ1冊でわかる光皮膚科-皮膚科医に必須の photodermatology-	光皮膚病	鈴織千佳子	皮膚科
Visual Dermatology	【皮膚科のPDT光力学療法】PDTの臨床例 腫瘍性病変 日光角化症(1)	長野徹、鈴織千佳子	皮膚科
皮膚科の臨床	肝臓癌の転移と鑑別を要した肝動脈化学療法後に出現した心窩部皮下脂肪腫炎	藤原道、尾島利宏、鈴織千佳子、日野泰久、谷口尚寛	皮膚科
医学のあゆみ	日本における色素性乾皮症の現状および皮膚科的管理	鈴織千佳子	皮膚科
Oncogene	Metabotropic glutamate receptor subtype-1 is essential for in vivo growth of melanoma	Ohtani Y, Harada T, Funaseke Y, Nekao K, Takehara C, Abdel-Daim M, Sakai N, Saito N, Nishigori C, Aiba A	皮膚科
Antioxid Redox Signal	Thioredoxin Suppresses the Contact Hypersensitivity Response by Inhibiting Leukocyte Recruitment during the Elicitation Phase	Fukunaga A, Horikawa T, Ogura K, Taguchi K, Xijun Y, Funaseke Y, Takeeda M, Nakamura H, Yodoi J, Nishigori C	皮膚科
J Immunol	Antiproliferative activity of IL-27 on melanoma	Yoshimoto T, Morishima N, Mizoguchi I, Shimizu M, Nagai H, Oniki S, Oka M, Nishigori C, Mizoguchi J	皮膚科
J Dermatol Sci	Four types of possible founder mutations are responsible for 87% of Japanese patients with Xeroderma pigmentosum variant type	Maseki T, Ono R, Tanioka M, Funasaka Y, Nagano T, Moriwaki S, Nishigori C	皮膚科
手術	【肝臓手術 術中トランプル回避法-対処法-こゝろとどうする】肝臓手術 肝動脈損傷 出血・血栓 回避と対処	貝英成、室永正寛、福本巧	肝胆膵外科
腫瘍	腹腔鏡補助下顕微鏡部切除術を施行した主要管型膵管内乳頭状液性腫瘍の1例	松本達平、栗田大介、新開亮、外山博近、辻村敏明、金英植、高瀬至郎、木戸正浩、藤田恒宏、味木徹夫、黒田嘉和、貝英成	肝胆膵外科、消化器外科

外科治療	日常診療の指針 直腸癌局所再発に対する重粒子線治療	神宿隆, 村上昌雄, 荻川良夫, 黒田嘉和	食道胃腸外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg	Effective chemotherapy based on a chemosensitivity test for malignant pleural mesothelioma	Maniwa Y, Yoshimura M, Takata M, Nishimura Y, Ohno Y	呼吸器外科
Eur Radiol	Quantitative and qualitative assessment of non-contrast-enhanced pulmonary MR imaging for management of pulmonary nodules in 181 subjects	Koyama H, Ohno Y, Kono A, Takenaka D, Maniwa Y, Nishimura Y, Ohbayashi C, Sugimura K	呼吸器外科
J Magn Reson Imaging	Dynamic MRI, dynamic multidetector-row computed tomography (MDCT), and coregistered 2-[fluorine-18]-fluoro-2-deoxy-D-glucose-positron emission tomography (FDG-PET)/CT: comparative study of capability for management of pulmonary nodules	Ohno Y, Koyama H, Takenaka D, Nogami M, Maniwa Y, Nishimura Y, Ohbayashi C, Sugimura K	呼吸器外科
Pediatr Surg Int	Efficacy and safety of balloon-occluded retrograde transvenous obliteration for gastric fundal varices in children	Hisamatsu C, Kawasaki R, Yasufuku M, Maeda K	小児外科
Surg Oncol Clin N Am	Percutaneous pelvic perfusion with extracorporeal chemofiltration for advanced uterine cervical carcinoma	Maruo T, Motoyama S, Hamana S, Yoshida S, Ohara N, Yamasaki M, Ku Y	産科婦人科、周産母子センター
BJU Int	Chemosensitization of gemcitabine-resistant human bladder cancer cell line both in vitro and in vivo using antisense oligonucleotide targeting the anti-apoptotic gene, clusterin	Muramaki M, So A, Hayashi N, Sowary R, Miyake H, Fujisawa M, Gleave ME	泌尿器科
日医脳研ワーキングペーパー No176 インフォームドコンセントの理論と説明文書	脳神経腫瘍の摘出術(後頭下法)を受けられる患者様へ	甲村英二	脳神経外科
日本コンピュータ外科学会誌	脳組織の圧排トレーニングシステム開発のための小脳圧排シミュレーションの研究	長谷川悠, 安達和彦, 東洋平, 藤田敏史, 甲村英二, 神吉博	脳神経外科
日本コンピュータ外科学会誌	脳室腹腔形解所時間短縮のための有限要素モデルの開発	東洋平, 安達和彦, 長谷川悠, 藤田敏史, 甲村英二, 神吉博	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル	脳室腹腔シャントを有する患者に対するバクロフェン脳腔内投与療法 3例報告	水川茂, 近藤誠, 甲村英二	脳神経外科
J Clin Neurosci	Rapid regrowth of an atypical choroid plexus papilloma located in the cerebellopontine angle	Tanaka K, Sasayama T, Nishihara M, Sekagami Y, Kondoh T, Ohbayashi C, Kohmura E	脳神経外科
Orthopedics	Total en bloc spondylectomy in the treatment of aggressive osteoblastoma of the thoracic spine	Nishida K, Doita M, Kawahara N, Tomita K, Kurosaka M	整形外科
日本整形外科学会雑誌	ヒトの骨折治癒過程に携わる骨折血腫細胞には骨形成蛋白が発現している	新倉隆宏, 三輪雅彦, 酒井良忠, 大江啓介, 岩倉崇, 長谷川巧実, 黒坂昌弘	整形外科、リハビリテーション部
J Cell Physiol	Fracture induced mobilization and incorporation of bone marrow-derived endothelial progenitor cells for bone healing	Matsumoto T, Mifune Y, Kawamoto A, Kuroda R, Shoji T, Iwasaki H, Suzuki T, Oyama A, Horii M, Yokoyama A, Nishimura H, Lee SY, Miwa M, Doita M, Kurosaka M, Asahara T	整形外科、リハビリテーション部
Stem Cells	Local Delivery of Granulocyte Colony Stimulating Factor-Mobilized CD34-Positive Progenitor Cells Using Bioscaffold for Modality of Unhealing Bone Fracture	Mifune Y, Matsumoto T, Kawamoto A, Kuroda R, Shoji T, Iwasaki H, Kwon SM, Miwa M, Kurosaka M, Asahara T	整形外科、リハビリテーション部
Bone	Circulating endothelial/skeletal progenitor cells for bone regeneration and healing	Matsumoto T, Kuroda R, Mifune Y, Kawamoto A, Shoji T, Miwa M, Asahara T, Kurosaka M	整形外科、リハビリテーション部
J Orthop Res	Human hypertrophic nonunion tissue contains mesenchymal progenitor cells with multilineage capacity in vitro	Iwakura T, Miwa M, Sakai Y, Niikura T, Lee SY, Oo K, Hasegawa T, Kuroda R, Fujioka H, Doita M, Kurosaka M	整形外科、リハビリテーション部
J Bone Joint Surg Br	Osteogenic activity of human fracture hematoma-derived progenitor cells is stimulated by low-intensity pulsed ultrasound in vitro	Hasegawa T, Miwa M, Sakai Y, Niikura T, Kurosaka M, Komori T	整形外科、リハビリテーション部
頭頸部癌	口腔・中咽頭癌術後の咽頭・嚥下障害への対応 口腔・中咽頭癌術後における言語聴覚士が関わる咽頭・嚥下のリハビリテーション	常行美貴, 加藤智紀里, 平山裕次, 斎藤幹, 丹生健一	耳鼻咽喉・頭頸部外科
がん看護	[がん患者の放射線療法と看護] 頭頸部がんに対する放射線治療に伴う摂食・嚥下障害のリハビリテーション	常行美貴, 斎藤幹, 丹生健一	耳鼻咽喉・頭頸部外科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol	Long-term results of amniotic membrane transplantation-assisted bleb revision for leaking blebs	Nagai-Kusuhara A, Nakamura M, Fujioka M, Negi A	眼科
Japanese Journal of Maxillo Facial Implants	移動骨片の舌側傾斜予防に配慮した下顎垂直的歯槽骨延長の検討	波谷恭之, 池端伯子, 小林正樹, 村田真穂, 宗本幸子, 鈴木泰明, 梅田正博, 古森孝英	歯科口腔外科

123

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 杉村 和朗		
管理担当者氏名	薬剤部長 平井 みどり	総務課長 菅原 秀倫	管理課長 大橋 利一
	学務課長 二瀬 勝康	医事課長 網野 啓吾	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		診療録センター (エックス線写真→各診療科、処方せん→薬剤部、病院日誌→総務課)	病歴資料については診療録センターで集中管理を行い、エックス線写真、処方せん、病院日誌は当該担当部署において、保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
確規 保則 の第 9 状 況 条 の 2 3 及 び 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課 9-23 1	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課 1	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課 9-23 0	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課 9-23 18	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課 1-11-1	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課 1 2	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課 1 3	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課 1 4	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課 1-11-2-1 ア
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課 ロ
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課 ハ
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課 ニ
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医事課 薬剤部 1-11-2-2 イ
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事課 薬剤部 ロ
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医事課 薬剤部 ハ
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課 薬剤部 ニ
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	管理課 1-11-2-3 イ
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	管理課 ロ
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	管理課 ハ
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	管理課 ニ		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 杉村 和朗		
閲覧担当者氏名	薬剤部 平井 みどり	総務課長 菅原 秀倫	
	学務課長 二瀬 勝康	医事課長 網野 啓吾	
閲覧の求めに応じる場所	応接室		

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.3%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	16050人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14127人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1627人	
	D：初診の患者の数	31110人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。



(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ( 3 名 ) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ( 3 名 ) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 所属職員：専従 1 名 (看護師長)、専任 2 名 (医師、歯科医師)、兼任 ( 1 7 ) 名</li><li>・ 活動の主な内容：別紙のとおり</li></ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：別紙のとおり</li></ul>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：別紙のとおり</li></ul>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 3 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：別紙のとおり</li></ul>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：別紙のとおり</li></ul>	

③ 活動の主な内容：

- (1) 医療安全管理委員会の資料の作成、議事要旨の作成及び保存を行っている。
- (2) インシデントの発生時、医療事故かヒヤリ・ハットに該当するかを分析し、事故等であれば、緊急問題検討会議を開催する。緊急問題検討委員会で、事故当事者より診療録に基づき報告を行うよう指導し、併せて診療録、看護記録の確認も行っている。
- (3) インシデント審議依頼書に、患者・家族への対応状況について記入する欄を設けている。記入漏れや詳細内容については、医療の質・安全管理部で確認・指導を行っている。
- (4) 緊急問題検討会議で、病院長を始め事務部長や看護部長等より事故当事者・直属の上司へ原因究明の調査を行っている。また、是正処置実施計画書・報告書により事故防止策の提出を発生部署へ依頼している。議事要旨を医療安全管理委員会で報告している。
- (5) 各部署に質・安全マネジャーが任命・配置されている。必要に応じ質・安全マネジャー連絡会議を開催し、各質・安全マネジャーに事例等を報告している。新任の質・安全マネジャーには、研修を行っている。  
また、毎月刊行の附属病院広報誌に、リスクマネジメントニュースを掲載し医療安全に関する情報を公開している。
- (6) 医療安全管理マニュアルを作成し、全部署に配付し、医療事故の防止を図っている。また、職員全員に医療スタッフポケットマニュアル配付し説明を行っている。さらに、医療情報端末から医療安全管理マニュアルがダウンロードできる。また、年2回医療事故特別防止月間を設け実施している。内容は、事故防止のポスターの掲示、医療事故防止のための職員必修講習の開催、医療の質・安全管理部から各質・安全マネジャーへ点検項目を依頼し実施している。点検結果を医療の質・安全管理室で集約分析し、質・安全マネジャー連絡会議で講評している。

⑤ 指針の主な内容：

(1) 医療機関における安全管理に関する基本的考え方

大学病院は一方では高度の医療を提供する使命を持ち、また、医療経済の上からも効率的な運用が求められているが、それにもまして患者の安全を第一に、一貫して患者の視点に立つ医療を心がける。また、事故を誘発しない環境や、未然に防ぐことのできるシステムを組織全体として構築することが必要である。そのための取り組みとして、①医療安全管理マニュアルの作成②教育・学習活動の展開③医療事故、ヒヤリ・ハット報告システムの確立④常設委員会の設置を位置づけている。

(2) 医療に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項

病院全体のレベルと各部門レベルのそれぞれで体制を確立するとともに、両者の連絡を図り、病院としての一元的な体制を整備することが重要である。本院では、中枢機関として「医療安全管理委員会」および「患者安全部門会議」が設置されている。また、各部署に「質・安全マネジャー」が任命・配置されている。

(3) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針

以下のような講習を毎年行う。①医療安全管理に関する職員必修講習会（年2回以上）②研修医、看護師、技官に対する採用時研修③医学部学生に対する医療安全管理に関する卒前教育④その他、医療安全に関連する講習会（輸血、感染対策等適宜）

(4) 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針

医療事故が起こった場合、直ちにセーフティマネジャーに連絡し、さらに24時間以内に必ずインシデント審議依頼書を提出する。

ヒヤリ・ハット報告に関しては、平成13年2月からオンライン入力システムが整備されデータベース化された。このデータベースを活用することによりヒヤリ・ハット内容の収集・分析を行い、事故に進展するのを未然に防ぐ方策を作成し、そのための訓練の実施や医療システムの見直しに役立てる。

(5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針

事故発生時の対応は、①直ちに医師、看護師等の連携の下に救急処置や医療上の最善の処置をとる。②医療事故が起こった場合、直ちにセーフティマネジャーに連絡し、さらに24時間以内に必ずインシデント審議依頼書を提出する。③患者に対して誠心誠意治療に専念するとともに、患者及び家族に対しては、誠意をもって事故等の説明を行う。④患者の状況、処置の方法・患者及び家族への説明内容を、診療録、看護記録等に詳細に記載する。本院に過失があると判断した場合（可能性も含む）は、速やかに医療事故調査委員会を設置し、事故原因を調査究明し、再発防止に万全の処置を講じる。

(6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針

原則的に患者さん、あるいは外部からの閲覧の求めに応じる方針である。また、院内患者情報コーナーにもマニュアルを置き、閲覧できるようにする。

(7) その他医療安全の推進のために必要な基本方針

ダブルチェックの励行を行う。

(8) 内規

- ・ 神戸大学医学部附属病院における医療に係る安全管理要項
- ・ 神戸大学医学部附属病院医療安全管理委員会内規
- ・ 神戸大学医学部附属病院医療の質・安全管理部内規
- ・ 神戸大学医学部附属病院質・安全マネジャー連絡会議内規
- ・ 神戸大学医学部附属病院緊急問題検討会議内規
- ・ 患者相談窓口取扱要領

⑥ 活動の主な内容：

- (1) インシデント審議依頼やヒヤリ・ハット事例に関する情報の収集
- (2) 収集された情報とその分析に基づき、病院内で具体的な対策の企画、実施
- (3) 医療現場への的確な情報の提供
- (4) 医療安全管理マニュアルの作成
- (5) 医療事故防止の教育・学習の展開等の任務を行う
- (6) 医療相談の報告に基づく指導

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・平成21年7～8月医療の質・安全管理部、感染制御部が合同で医療安全に関する職員必修講習Ⅰ（前期）を7回開催、出席率の向上に努めた。
- ・平成22年1～2月に、医療安全に関する職員必修講習Ⅱ（後期）を7回開催予定。中途採用者も出席させる。
- ・Basic Life Support と自動体外式除細動器の講習会の実施  
平成16年6月より Basic Life Support と自動体外式除細動器の講習会を実施し、本年も継続し行っている。看護師、医師その他医療従事者に対し人工呼吸、胸骨圧迫、除細動の実習を月2回開催している。なお、平成18年8月よりガイドライン 2005に対応した講習内容に改めた。
- ・新規採用職員合同研修を4月当初に開催し、医療安全に関する講習を行っている。

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・医療機関内における事故報告等の整備

イ. ⑤の(4)の回答と同じ

・その他の改善のための方策の主な内容

イ. 医療スタッフポケットマニュアルの配付

平成15年11月より医療安全管理及び感染予防等のエッセンスを掲載した医療スタッフポケットマニュアルを医療従事者全員に配付した。

ロ. 薬剤情報検索システム

平成17年6月より薬剤情報検索システムの運用を開始した。それにより、処方オーダー時に投与量や効用などの情報が検索できるようになった。

ハ. 持参薬の病棟薬剤師による処方チェックシステム

平成17年8月より持参薬の病棟薬剤師による処方チェックシステムを立ち上げた。

ニ. インスリン指示票の統一

平成16年12月よりインスリン指示票を配付し、指示の統一化を図った。

ホ. 是正処置実施計画書・報告書の作成

平成17年4月よりレベル3b以上のインシデントや、ヒヤリ・ハットのうち重大性の非常にあるものなど、ヒヤリ・ハットの検討会で是正計画を作成した方が良好と判断された事例について、部署に是正処置実施計画書・報告書の作成を依頼し、検証することとした。

ヘ. 院内巡回の定期化

平成17年度より、病棟・外来・中央診療部門等の全ての部署に対し、テーマを決めて毎月2～3部署ずつ巡回を行い、結果を診療科長等会議で報告している。また、上記「是正処置実施計画書・報告書」の報告のあった部署については、巡回時効果の確認を行っている。

ト. 医薬品及び医療機器安全管理委員会を整備

平成20年度、医薬品安全管理委員会と医療機器安全管理委員会を立ち上げ、安全情報を収集すると共に、副作用、不具合の収集、分析を行うこととした。

チ. 医療安全組織の改組

平成21年4月、医療安全管理室を改組して、医療の質・安全管理部とした。専任1名を増員し、臨床倫理、臨床指標の分析の支援を行える体制づくりを始めた。

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：          院内感染対策に関する基本的考え方、院内感染対策のための委員会・組織、院内感染対策のための職員等に対する研修に関する基本方針、院内感染発生時の対応（報告体制含む）に関する基本方針、患者・家族等に対する指導およびインフォームドコンセントと当該指針の閲覧に関する基本方針、その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針（サーベイランス・コンサルテーション・職業感染対策・マニュアルの編集・院内環境の整備・地域連携）</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 24 回
<p>活動の主な内容：          ・ 院内感染対策委員会…月 1 回、感染制御部会…月 1 回 実施          ・ MRSA及び耐性菌の検出情報、院内ラウンド内容、新型インフルエンザ対応、職業感染予防（結核曝露対策、ワクチン接種、針刺し・切創予防など）、院内感染予防マニュアルの改訂、院内必修講習会の内容などを検討・実施計画立案している。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 48 回
<p>研修の主な内容：          ・ 新規採用者全員に対し院内感染防止対策の基本について年 1 回オリエンテーション。          ・ 全職種に対して、職員必修講習会として年 2 回（職員全体で同じ内容を計 14 回実施）、医療安全部門と共に時期に応じて院内感染対策上重要なポイントおよびトピックスや実例について講演。          ・ 職種別（医師、看護師、診療技術部門、委託業者等）にも各々年 2～14 回、各職種に応じた現場で遵守すべき感染対策の知識や技術について講義やトレーニングを実施している。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無）          その他の改善のための方策の主な内容：          ・ 定期（週 1 回）及び随時に耐性菌発生状況をモニタリングし、抗菌薬の使用状況と感染対策実施状況確認（ラウンド）し、必要時指導する。          ・ 抗菌薬使用状況調査し抗菌薬検討プロジェクトで抗菌薬の採用を検討。          ・ 随時、現場医療従事者からのコンサルテーションをうける。          ・ 浸襲処置・医療器具関連感染、針刺し・切創のサーベイランスを実施。          ・ 職員のワクチン接種プログラムを実施する。</p>	



医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	① 有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：麻薬管理、ハイリスク薬、インスリン・経口糖尿病薬について</li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 ( ③ 有・無 )</li> <li>・ 業務の主な内容： 医薬品の採用・購入、調剤、服薬指導、安全使用に関する内容</li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( ④ 有・無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 重大な事例は、医療の質・安全管理部ミーティング、医薬品安全管理委員会にて報告や改善策の検討を行っている。</li> <li>● 必要な情報は、外来、病棟等の各部署に紙媒体で配布すると共に、病院情報システムへの掲載や院内各種会議での報告を行っている。</li> </ul> </li> </ul>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 39 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>人工呼吸器、輸液・シリンジポンプ、徐細動器、補助循環、血液浄化装置          についての操作方法及び、管理上の注意点とトラブルシューティングについて。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>院内の臨床工学技士による、定期点検（消耗品交換含む）と、          メーカー実施における点検報告書の管理。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内必修講習会において、医療機器に関する安全情報の提供と          不具合報告の連絡体制の整備。</p>	